

「中秋の名月」

まだまだ暑い日が続きますが、暦の上ではもう秋です。秋が深まると夜空に輝く美しい月が人々の心を魅了します。そして 2026 年 9 月 25 日は中秋の名月（お月見）です。

今回は「お月見」についてご紹介します。

【中秋の名月とは】

旧暦 8 月 15 日の十五夜に月見をする日本に伝わる風習のことです。お月見の文化は平安時代に中国から伝わりました。平安時代の貴族社会の間だけの風雅な催しが庶民の間に広まったのは江戸時代になってからで、収穫祭の意味合いが強く無事に稲を収穫できた喜びを分かち合い感謝する日として広まったようです。美しい月を眺めながらお供え物をし、豊作への祈りと感謝の気持ちを月の神様へ捧げる行事となりました。



【お団子とススキ】

なぜ、お月見とお団子？

- ・満月と同じく丸いお団子をお供えし食べることで翌年の豊作祈願、健康と幸せが得られると考えられています。

なぜ、お月見とススキ？

- ・本来、収穫の感謝を込めて稲穂を飾りたいところですが、お月見のころには穂が実る前であることから、穂の出たススキを稲穂に見立てて飾ったと言われています。また、ススキの切り口は鋭く「魔除け」の意味があり邪気を遠ざける、とも言われています。

美しく輝く月は私たちの心を穏やかにし、癒しを与えてくれるはずです。

虫の声を聞きながら秋の夜空を眺めてみませんか？

このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望は：（公財）宮崎県国際交流協会まで

TEL：0985-32-8457 FAX：0985-32-8512 Email miyainfo@mif.or.jp

毎日の生活に関してご質問、ご心配事などありましたら：みやざき外国人サポートセンターまで
TEL：0985-41-5901 FAX：0985-41-5902 Email support@mif.or.jp